

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R 6 年 3 月 25 日

事業所名: 児童発達支援事業所 ぽるか

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			R5.6月にオープンし、個別と集団の部屋を確保することでゆとりのあるスペースを提供出来ております。	100%				座学と運動の部屋が分かれており十分なスペースがある。	
	2	職員の適切な配置	○				92%	8%			適切である。	法令遵守に基づき、日々の業務を安全に行っております。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい の特性に応じた設備整備	○				77%	23%			廊下の広さ、手すりの配置等、配慮がなされている。	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				100%				適切である。	今後も清潔な環境を保ち安全な場を提供できるよう努力してまいります。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	○			休みの職員に対してはラインや報告ノートを活用し情報を伝達、共有しております。						その日の出来事を職員間で発言し、改善点などはその日にしっかり話合う事でより良い支援に繋げております。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○								外部機関との連携を図り、業務改善に取り組みさらなる支援の向上に努めてまいります。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			研修にも積極的に参加し、資格取得にも個々で目標を持ち取り組んでおります。						年に10回以上の外部講師の研修に加え、県や市が主催の研修にも参加し勉強会を行ってまいります。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				100%				現状の問題点及び課題が適切に排出され、改善に向けた計画が作成されている。	今後も保護者様や支援者の意見をしっかり聞き取り、取り入れながら利用者様主体の支援計画作成に努めてまいります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				100%				適切である。	利用者様一人ひとりの実態を把握し必要に応じて項目の追加や変更を行ってまいります。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○									利用者様の実態に合わせて、集団での活動と個別の活動、両面で様々な体験が出来るよう計画の作成を行ってまいります。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の 提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイ サービス計画に沿った適切な支援の実施	○				100%					これまでと同様、支援計画に全員が 目を通して内容を把握し、個々の目 標達成に向けた支援を行ってまいり ます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	○			ミーティングや振り返り、職員会で意 見を出し合って支援を行っておりま す。						
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫 の実施	○				100%				季節のイベントもあり楽しめている。	様々な活動を提供する中で、個々が 参加しやすい方法を提案しながら 実施してまいります。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細や かな支援	○			その日の体調や様子に応じた活動 を 提供しております。						
	8	支援開始前における職員間でその日の支 援内容や役割分担についての確認の徹 底	○			報告ノートの確認やミーティングでの 周知をし、療育に入るよう努めており ます。						今後も共通した支援が出来るよう、 ミーティングの時間を設けてまいりま す。
	9	支援終了後における職員間でその日行わ れた支援の振り返りと気付いた点などの 情報の共有化	○			サービス提供実施記録をもとに その日を振り返り、情報共有を行っ ております。						今後も継続して情報共有を行って まいります。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施	○			療育後、サービス提供実施記録を 記入し、必要に応じて話し合いを設 けてります。						これまでと同様、利用者一人ひと りの 記録をしっかり記し支援が行えるよう に 努めてまいります。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画の見直し	○									年に2回のモニタリングに加え 日々の利用者様との関わりを 保護者様との情報交換で 変化があれば実態に合わせた計画と なるよう努めてまいります。	
関係機 関との 連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者 による障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議への参画	○			相談支援専門員などと連携をとりな がら管理者、児童発達管理責任者 が参加しております。						今後も他施設との連携した支援を 目指して担当者会議への積極的参 加に 努めてまいります。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身 障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育 等の関係機関と連携した支援の実施		○								

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		○								
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			送迎時に先生より申し送りを伺い職員に周知し、日々の支援をおこなっております。						利用者様に関わる各機関との連携を取りながら安心して通うことが出来るよう今後も継続して情報共有を行ってまいります。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									必要に応じ十分な情報提供と移行後にも連携に努めてまいります。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									今後も各専門機関との連携や専門機関での研修参加を積極的に行い、さらなる支援の向上に努めてまいります。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		○				69%	31%	幼稚園等に通園している児童は交流があるが、事業所としての交流はないと思う。		今後検討してまいります。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○								
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				100%				利用にあたりきちんと説明を受けた。	これまでと同様、支援内容や利用者負担について丁寧な説明を行ってまいります。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				100%				きちんと説明を受けている。	保護者様の声を反映しながら、本人主体の支援計画を作成し丁寧な説明を行ってまいります。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○				58%		42%	日々のアドバイスがとても助かっています。	今後研修等を活用してペアレントトレーニングを学び、実施してまいります。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				100%				送迎の際にその日の様子や変化をお話してくれるのでありがたいです。	今後も継続して日々の保護者様との関わりを大切に共通理解を深めてまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				100%				どの支援員にも相談しやすいです。	今後も保護者様からのご相談について責任者を中心にお力添え出来るよう努めてまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		○				69%	31%		保護者会は特に開催されていない。	感染症対策で、現在は実施出来ていませんが、また様々な方法を考え検討してまいります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				77%	23%				今後も迅速に誠実な対応を心がけてまいります
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				92%	8%				今後も保護者様や利用者様の実態に合わせ、意思の疎通や情報伝達に努めてまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○				92%	8%			イベントのお知らせなどを配布してくれている。	今後も継続してまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			事務所で厳重に保管を行い取り扱いには十分注意しております。	100%				適切な取り扱いがなされている。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○				77%	23%			マニュアルは見たことはないが研修や訓練をしていることは知っている。	今後もマニュアル等をもとに安全な環境作りに努めてまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○			風水害、地震・火災の避難訓練を年3回実施しております。	47%	38%	15%		参加はできていないが訓練が実施されたことは聞いている。	今後も避難訓練を実施し緊急時に備えてまいります。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			外部講師をお招きしての研修に加えて他主催の研修にも参加して会社全体で周知を行ってまいります。						これまでと同様、研修参加と委員会での話し合いを周知してまいります。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			やむを得ず身体拘束を行う場合にはしっかりと保護者様に説明し、同意書を頂いております。						今後もしっかり説明を行い、同意書を頂き誠実な対応に努めてまいります。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			現在、食事等の提供はありませんが、医師の指示書を最優先に保護者様と相談しながら配慮を行ってまいります。						全職員への周知を行い安全に努めてまいります。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			ヒヤリハットの記入があった際には職員全員で改善策、反省点を考え、周知を行ってまいります。						迅速に話し合い、改善し利用者様、保護者様に安心していただける環境作りに努めてまいります。